2014 年度 事業報告

1　2014 年度 事業報告

1. はじめに

富士山は、2013 年 6 月カンボジア・プノンペンで開催された第 37 回ユネスコ世界遺産委員会において、「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録されました。当法人は本年、法人名を「富士山世界遺産国民会議」と改め、世界遺産富士山の保全とその普遍的価値の後世への継承のため、静岡、山梨両県との連携を強化し、富士山の幅広い PR・啓発活動を実施いたしました。

2. 主要な活動とトピックス

(1) 1 月 22 日(水)、第 3 回富士山世界文化遺産協議会開催
会場:静岡県富士宮市役所 7 階特大会議室
富士山利用者負担、イコモスによる評価及び世界遺産委員会による決議への対応等について協議された。

(2) 2 月 26 日(水)、第1回富士山世界文化遺産学術委員会(委員長:遠山理事長、副委員長:高階副理事長)開催
会場:ルポール麹町 3 階ガーネット
イコモスによる評価及び世界遺産委員会による決議への対応について、今後の予定及び学術委員会の進め方等について協議された。

(3) 3 月 19 日(水)、自民党有志議員による富士山議連「美しい富士山を創り守る議員の会」発足
名誉会長:安倍晋三首相
会長:細田博之幹事長代行
静岡、山梨両県の議員を中心に約 40 人が参加。

(4) 3 月 26 日(水)、第4回富士山世界文化遺産協議会開催
会場:山梨県ハイランドリゾートホテル＆スパ 2 階グランドバンケット「富士」
イコモスによる評価及び世界遺産委員会による決議への対応、平成 26 年度事業計画(案)及び予算(案)、平成 26 年度会長の選出等について協議された。

(5) 3 月 27 日(木)、東京都による法人の定款変更、名称変更の認証
「富士山を世界遺産にする国民会議」⇒「富士山世界遺産国民会議」

(6) 4 月 1 日(火)、東京都の認証を基に、法務局への法人登記

(7) 4 月 21 日(月)、世界遺産認定書伝達式開催
会場:外務省講堂
外務省より、静岡、山梨両県知事に、富士山の世界遺産認定書のレプリカが伝達された。本証は外務省に保管される。

(8) 5 月 28 日(水)、第 2 回富士山世界文化遺産学術委員会開催

会場:第一ホテル東京 21 階ルミエール

世界遺産富士山ヴィジョン案、各種戦略の骨子案、今後の予定等について協議された。

(9) 6 月 22 日(日)、富士山世界文化遺産登録1周年記念式典開催

会場:静岡県沼津市ふじのくに千本松フォーラムプラサヴェルデ 1 階コンベンションホール A

遠山理事長が、富士(ふじ)の国(くに)づくり推進会議の共同代表として出席した。

(10) 7 月 15 日(火)、法人の紹介パンフレット改訂

法人名の変更、事業の目的の変更等に伴い、法人の紹介パンフレットを改訂した。

(11)7 月 17 日(木)、いつまでも富士山シール作成

今夏の登山シーズンに向けた PR・啓発ツールとして、「いつまでも富士山」シールを作成した。

(12)7 月 25 日(金)、東京都より改めて認定 NPO 法人認定

前回 2009 年に国税庁より認定された認定 NPO 法人の認定期間が 8 月に満期を迎えるため、改めて東京都に認定を申請、新たに 5 年間、認定 NPO 法人として認定された。

(13)8 月 20 日(水)、富士(ふじ)の国(くに)づくりキッズ・スタディ・プログラム研修会実施

会場:東京都すみだリバーサイドホール

東京都墨田区、台東区、渋谷区、静岡県、山梨県の教員、教育関係者を対象に、本年のキッズ・スタディ・プログラムの教材を使用した授業の進め方等について研修会を実施した。

(14)9 月 25 日(木)、第 3 回富士山世界文化遺産学術委員会開催

会場:都道府県会館 101 大会議室

今夏の富士山の状況についての報告がなされ、世界遺産富士山ヴィジョン(案)、各種戦略案、富士山世界遺産センター等について協議された。

(15)9 月 28 日(日)～30 日(火)、熊野古道視察

和歌山県、三重県の熊野古道関連の視察を行った。和歌山県立世界遺産センター　辻林浩センター長、三重県熊野古道センター　世古博久副センター長に、富士山同様複数県にまたがる世界遺産の管理の状況についてヒヤリング。また、構成資産のうち、熊野那智大社、那智山青岸渡寺、那智大滝、熊野本宮大社、熊野速玉大社等を視察した。

(16)キッズ・スタディ・プログラム開発に協力いただいた、故有田和正先生の愛弟子である筑波大附属小学校の梅澤真一教諭が、同校でキッズ・スタディ・プログラムの教材を用いた特別授業を実施した。

(17)11 月 26 日(水)、第4回富士山世界文化遺産学術委員会開催

会場:第一ホテル東京 21 階ルミエール

世界遺産富士山ヴィジョン案、各種戦略案等について協議された。

(18)12 月 24 日(水)、富士山世界文化遺産協議会開催

会場:静岡県沼津市ふじのくに千本松フォーラムプラサベルデ 3 階コンベンションホール B

2016 年 2 月 1 日までにユネスコに提出される「保全状況報告書」における世界遺産富士山ヴィジョン(案)及び各種戦略の骨子案が承認された。この骨子に基づき、2015 年中に「保全状況報告書」が作成される。

4ページ以降、各活動の報告の詳細です。

2 各種委員会の運営

3 主催および共催事業

4 後援事業および PR/啓発活動

5 富士山基金事業と富士山基金への寄付

2　各種委員会の運営

1）運営委員会

日時　1月30日(木)、3月18日(火)、5月27日(火)、7月10日(火)、8月19日(火)、
10月2日(木)、11月12日(水)、12月15日(月)
計 8回

場所　富士山世界遺産国民会議事務局

内容　活動内容の検討と活動報告

2）評議員会

日時　2月4日(火)/第49回、 4月1日(火)/第50回、 6月10日(火)/第51回、
8月27日(水)/第52回、 11月11日(木)/第53回
計5回

場所　富士山を世界遺産にする国民会議事務局

内容　活動内容の検討と活動報告

3　主催および共催事業

1)　富嶽三十六プロジェクト

2013 年の世界文化遺産登録を期にスタートさせた「富嶽三十六プロジェクト」。同プロジェクトは、富士山をテーマとするさまざまな文化コンテンツ（商品）で富士山基金への募金を図り、富士山の保全活動及びその啓発活動を支援していくもの。初年度は、「富嶽三十六冊」「富嶽三十六曲」「富嶽三十六プロダクト」「富嶽三十六スイーツ」「富嶽三十六 T シャツ」「富嶽三十六チャレンジ」の 6 レーベルで、活動を開始。今年度は新たに「富嶽三十六音楽祭」「富嶽三十六試合」「富嶽三十六カンパイ！」「富嶽三十六オルゴール」の 4 つのレーベルを追加し、プロジェクトの拡大を図った。
8 月 31 日（日）、富士宮市の富士山本宮浅間大社に、「富嶽三十六プロダクト」「富嶽三十六スイーツ」「富嶽三十六 T シャツ」等、一年間お世話になったアイテム（商品）を感謝の意を込めて奉納、世界遺産富士山の維持・継承、富士山登山の安全を祈願した。

■HP 画面より

■富士山本宮浅間大社への奉納

2) 富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム

2013 年、両県教育委員会の協力を得て、「富士山キッズ・スタディ・プログラム」の教材を静岡県、山梨県、東京都中央区の全小学校に配布。教員関係者向け研修会を実施、教育現場での利用促進を図った。その後のアンケート(2013 年 12 月)の集計によると、「教材を授業に活用した」が全体の58.2%、「今後活用予定」まで含めると76.2%という結果を得ることができた。

今年度は、名称を「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」と改め、葛飾北斎ゆかりの東京都墨田区、台東区と渋谷区で教材を配布、教材を活用した授業の推進を図った。昨年度に続き、該当地区の教員を主たる対象とした研修会を実施、教材活用の更なる推進を図った。

また、10月には、筑波大学附属小学校(東京都文京区)で、同校梅澤真一教諭による富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラムの教材を活用した特別授業が実施された。

●富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム研修会

主催　:富士の国づくり推進会議(静岡県・山梨県)
　　認定 NPO 法人富士山世界遺産国民会議
後援　:静岡県教育委員会・山梨県教育委員会・墨田区教育委員会・渋谷区教育委員会
日時　: 8 月 20 日(水) 13 時～15 時 15 分
会場　:すみだリバーサイドホール
内容　:特別研修 「子どもたちの好奇心を引き出す有田授業のひみつ」
　　筑波大学附属小学校　梅澤真一教諭
　パネルディスカッション「富嶽三十六景で学ぶ江戸に栄えた町人文化」の活用法を探る
　　筑波大学附属小学校　梅澤真一教諭
　　公益財団法人墨田区文化振興財団　竹村誠学芸員
　　中央区立月島第三小学校　網野桃子教諭
　　渋谷区立笹塚小学校教諭　北川大樹教諭

4　後援事業および PR/啓発活動

1)　はごろもフーズ(株)より富士山基金寄付贈呈式

内　容　：同社の販売する「シーチキン　ファンシー」(静岡県限定、復刻版)、「サラスパ 4 分」、「ポポロスパ 7 分」に当会議のロゴマークを掲出。当該商品の 1 年間の販売に対する寄付贈呈式が 2 月 19 日(水)、 静岡県庁にて行われた。

2)　ボートレース浜名湖会場パネル展示等への協力と富士山基金寄付授与式

内　容　:富士山世界文化遺産登録を祝し、「全国展開 GI 浜名湖賞開設 60 周年記念競争」期間中に富士山の写真の展示、国民会議の取り組み等のパネルを展示、 PR グッズを配付した。

期　間　:2014 年 1 月 1 日(水)～1 月 26 日(日)

場　所　:ボートレース浜名湖　インフォメーション内

授　与　:1月 26 日に同会場にて寄付金の授与式が行われた。

3)　米久(株)より富士山基金寄付贈呈式

内　容　：米久（静岡県沼津市）は、09 年 1 月より富士山会議のサポーター企業。同社の「肉団子」の販売に対する今年度の寄付の贈呈式が 2 月 20 日（木)、米久本社にて行われた。

4)　アサヒビール「うまい！を明日へ」より富士山基金に寄付

内　容　：同社が行っている全国キャンペーンの第7弾。2013 年 10 月上旬から下旬製造分の静岡県下での「スーパードライ」の販売に対する今年度の寄付の贈呈式が 2 月 21 日(金)、静岡県庁にて行われた。

5)　「中伊豆・西伊豆観光宣伝協議会」キャンペーンに協力

内　容　:中伊豆・西伊豆地区(三島市、函南町、伊豆の国市、伊豆市、沼津市、西伊豆町、松崎町)の観光課等の自治体の観光セクションと同地区の観光協会が主体の共同企画「富士山を観ながら伊豆の美術館めぐり」BINGO スタンプラリーキャンペーンに協力、ポスターに当会議のロゴマークを掲出した。

期　間　:2014 年 2 月8日(土)～3 月 16 日(日)

6） 国連ハビタット　世界都市フォーラム（World Urban Forum 7 in Medellin,Colombia）に協力

内　容　：国土交通省の要請に基づき、コロンビア・メデジンで開催された同フォーラムの日本館での日本紹介のため、富士山の DVD 放映等の PR 活動を実施した。

7） 「チャレンジ富士五湖」に後援

内　容　：今年で 24 回目を迎えた長距離マラソン大会「チャレンジ富士五湖」に後援。富嶽三十六チャレンジ第 1 弾として、ファンドレイジングサイト、ジャストギビングの協力を得、ファンドレイジングによる寄付の仕組み構築した。

日　時　：2014 年 4 月 20 日（日）

会　場　：富士北麓地域

主　催　：チャレンジウルトラランニング in 富士五湖実行委員会

共　催　：富士吉田市陸上協議会

8） 「富士の麓音楽祭」に後援

内　容　：世界遺産富士山を望む開放感あふれる会場で実施される音楽祭に後援。富嶽三十六音楽祭第 1 弾。

日　時　：2014 年 4 月 26 日（土）　12:00　～　21:00

場　所　：ハートランド朝霧

主　催　：富士の麓音楽祭実行委員会

会場協力：ハートランド朝霧

後　援　：富士宮市、静岡観光コンベンション協会

9） 富嶽三十六試合第 1 弾 Jリーグ 清水エスパルス主催試合

内 容 ： 富嶽三十六試合第 1 弾として、静岡新聞の協力を得、静岡新聞・SBSマッチ、清水エスパレスvsサガン鳥栖の試合をチャリティ試合と位置づけPR活動を展開、募金活動を実施した。また、サイン入りグッズや富士山グッズの売り上げの一部も富士山基金へご寄付頂いた。

日 時 ：2014 年 5 月 3 日

場 所 ： IAIスタジアム日本平

10） 富士山世界文化遺産登録1周年記念式典で PR 活動

内 容 ：富士山の世界文化遺産登録1周年を記念して行われた式典（静岡・山梨両県主催）に遠山理事長が、“富士（ふじ）の国（くに）”づくり推進会議の共同代表として出席、ご挨拶をした。

また、同会場ホワイエにて、「国民会議の活動」「キッズ・スタディ・プログラム」「富嶽三十六プロジェクト」に関するパネルを展示、さらに富嶽三十六プロダクト、富嶽三十六 T シャツなどの商品を展示、活動を PR した。

日 時 ：日 時 ：平成 26 年6月 22 日（日） 13:30～

会 場 ：静岡県沼津市 ふじのくに千本松フォーラム「Plaza Verde」1階コンベンションホール

11） 富嶽三十六オルゴールの開始

内　容　:富嶽三十六プロジェクトの新カテゴリー。KOKOROs ORUGORU 代表　石崎伸治氏をプロデューサーとして、複数のオルゴール作家が富士山をモチーフに 36 のオルゴールを作成して行く。

6 月 25 日 HP にアップされた。

12） 富嶽三十六冊発売

内　容　:㈱ブックウォーカーより刊行されている電子書籍ミニッツブック「富嶽　三十六冊」シリーズの新刊が夏山の登山シーズンを迎え、相次いで発売（配信開始）された。

①「富士山　幸せパワースポット巡り」

著　者:下川友子

発　売:6 月 12 日（木）

②「野営女（ヤエージョ）オススメ！富士山で、クウ、ネル、キャンプ！！」（山梨編）

著　者:こいしゆうか

発　売:6 月 26 日（木）

③「一生に一度は登りたい　富士山　安全ガイド 10 項目」

著　者:辻アラタ、北尾妙

発　売:7 月 17 日（木）

④「野営女（ヤエージョ）オススメ！富士山でクウ、ネル、キャンプ！！」（静岡編）

著　者:こいしゆうか

発　売:7 月 24 日（木）

13） 富士山経済新聞取材対応

内　容　:広域富士山圏のビジネス＆カルチャーニュースのインターネット情報配信サービス、富士山経済新聞（編集部＝富士山須走口 5 合目　山荘菊屋内）の取材に対応した。

掲載日　:2014 年 7 月 3 日（木）

14） 当法人紹介パンフ（A パンフ）改訂

内　容　:法人名の変更、事業の目的の変更等に伴い、法人の紹介パンフレットを改訂した。

完　成　:7 月 15 日（火）

15） 富士山シール作成

内　容　:PR・啓発のためのツールとして「いつまでも富士山シール」を作成した。

完　成　:7 月 17 日（木）

16） 富士山（山梨県）に於ける啓発活動

内　容　:吉田口新５合目に新しく整備された富士山五合目総合管理センターで啓発のため、いつまでも富士山シール 10,000 枚を配布した。

期　間：2014 年 7 月 26 日（土）～

17） 静岡県小山町への協力

内 容 :小山町との姉妹町、岡山県勝田郡勝央町、京都府福知山市および小山町と防災協力を結ぶ茨城県北茨城市の小学生(5～6 年生)約 150 名の富士登山に合わせ、啓発のためいつまでも富士山シールを配布した。

登山日 :2014 年 7 月 28 日(月)～29 日(火)

18） 富士山(静岡県)に於ける啓発活動

内 容 :静岡県側3登山口を中心に、啓発のためいつまでも富士山シール 10,000 枚を配布した。

富士宮口:4,800 枚
須走口 :3,600 枚
御殿場口:1,200 枚
静岡県庁: 400 枚

期 間 :2014 年 8 月 1 日(金)～

19） 富士山環境美化前期クリーン作戦 2014 でのPR・啓発

内 容 : 公益財団法人富士山をきれいにする会が主催する富士山(吉田口 5 合目登山道入り口および精進湖周辺)の清掃作業に際し、参加者 1,800 人に、Aパンフ、いつまでも富士山シール、富嶽三十六チラシをセットにして配布した。

日 時 : 2014 年 8 月 2 日(土)

開会会場:山梨県富士吉田市・富士北麓公園

清掃地域: 吉田口 5 合目登山口周辺および精進湖周辺

主 催 : 公益財団法人 富士山をきれいにする会

20)　CISV（Children‘s International Summer Villages）でのPR・啓発活動

内　容　：1950 年に設立された国際NGO、CISVのプログラムのひとつ、ステップアップ（対象年齢：14、15 歳）のサマーキャンプ（オーストリア、カナダ、ドイツ、ハンガリー、イタリア、スロベニア、スペイン、スイス、日本から 45 人が参加）のカルチュラルアクティビティで、日本人メンバーが富士山を訴求する。そのため、いつまでも富士山シール、DVD、缶バッジを提供した。

会　期　：2014 年 8 月 1 日（金）～8 月 23 日（土）

会　場　：スペイン・ガルシア

21）静岡県富士宮市へ協力

内　容　：富士宮市で実施された産業振興イベントにおいて、富士山の世界文化遺産登録活動をPR。缶バッジ、いつまでも富士山シールを各 1,000 配布した。

日　時　：2014 年 8 月 8 日（金）

会　場　：富士山本宮浅間大社

22）富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム研修会開催

内　容　：昨年、静岡、山梨両県および東京都中央区で実施したキッズ・スタディ・プログラムを本年は名称を富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラムと改め、東京都墨田、台東、渋谷の3区で実施。対象3区の教員、教育関係者への研修会を開催した。

日　時　：8 月 20 日（水）13:00～15：20

会　場　：すみだリバーサイドホール（東京都墨田区吾妻橋 1-23-20）

参加費　：無料

主　催　：認定 NPO 法人富士山世界遺産国民会議、“富士の国”づくり推進会議(静岡県、山梨県)

後　援　：静岡県教育委員会、山梨県教育委員会、墨田区教育委員会、渋谷区教育委員会

出　席　：約 100 名

23） 富嶽三十六チャレンジで富士登山

内　容　:IT系企業の社長ら、若手企業人を中心に約 40 人が登山ガイドの山田淳氏と共に富士登山を実施した。富嶽三十六チャレンジの一環として、ｼﾞｬｽﾄｷﾞﾋﾞﾝｸﾞを通じて寄付を募った。また下山後の 31 日、一年間富嶽三十六シリーズに貢献した富嶽三十六プロダクト、スイーツ、Tシャツなどの商品を富士宮市の富士山本宮浅間大社に奉納した。

日　時　:2014 年 8 月 30 日（土）、31 日（日）

24） 富士山環境美化後期クリーン作戦 2014 でのPR・啓発活動

内　容　：公益財団法人富士山をきれいにする会が主催する富士山（吉田口 5～6 合目周辺）の清掃作業に際し、参加者 400 人に、Aパンフ、いつまでも富士山シール、富嶽三十六チラシをセットにして配布した。

日　時　：2014 年 9 月 9 日（火）

開会会場：山梨県富士吉田市・富士北麓公園

清掃地域: 吉田口 5～6 合目周辺

25） 石見銀山世界遺産センター公開講座2014への参加

内　容　:石見銀山世界遺産センターが主催する世界遺産フォーラム in 石見銀山「どうする！世界遺産のこれから」で行われたパネルディスカッションに、富岡製糸場、長崎、石見銀山の代表と共に松本ゼネラルプロデューサーがパネラーとして参加、世界遺産のこれからについて意見を交わした。さらに、いつまでも富士山シール、富嶽三十六プロジェクトパンフレット、缶バッジ、構成資産を紹介したパンフレット（合同会議制作）等を配布、富士山の PR・啓発活動を実施した。

日　時　:2014 年 9 月 20 日（土）　14:00～16:30

会　場　:島根県大田市大田市民会館　中ホール

参加者数:約 180 人

26） ㈱ポポラマーマ（東京都江戸川区中葛西 3－34－9）でのキャンペーン開始

内　容　:同社の期間限定キャンペーンとして、同社の複数店舗で「スノーアイス黒蜜きなこ」の販促に　当会議のロゴマークを掲出、世界遺産富士山の保全を PR すると共に、富士山基金へ寄付をいただく予定。

期　間　:2014 年 10 月 1 日（水）～2015 年 3 月 31 日（火）

27） 朝霧 jam での PR・啓発および募金活動

内　容　:富嶽三十六音楽祭第 2 弾として協力いただいた朝霧 jam で、静岡県、富士宮市観光協会と共にブースを展開。来場者に対し、A パンフ、いつまでも富士山シール、富嶽三十六パンフレットを各約 500 枚配布、啓発活動を実施すると共に、くるくる募金箱を活用し、募金活動を実施した。当日は、応援参加した前年度今年度のミス富士山も協力、啓発、募金活動を盛り上げた。

日　時　:2014 年 10 月 11 日（土）、12 日（日）

場　所　:静岡県富士宮市朝霧アリーナ

28） 筑波大学附属小学校で KSP 特別授業を実施

内　容　:KSP 開発にご協力いただいた、故有田先生の愛弟子である筑波大付属小学校の梅澤真一教諭が、同校で KSP の教材を用いた特別授業を実施。富士山会議事務局メンバーも見学、授業の進め方、内容などを研究した。

日　時　:2014 年 10 月 20 日（月） 11:20～12:15

場　所　:筑波大学附属小学校
東京都文京区大塚 3-29-1

29） ボートレース浜名湖より富士山基金寄付授与式

内　容　:浜名湖競艇開設 61 周年記念静岡県知事杯争奪戦 G1 浜名湖賞レースの売上より富士山基金への寄付授与式が 11 月 20 日（木）、同競艇場インフォメーション内にて行われた。

30） 世界遺産フェスティバルへの協力と PR 活動

内　容　:世界遺産世田谷倶楽部が主催する「－世界を知ろう－各国の代表が語る世界遺産フェスティバル」に協力、世界遺産関連資料とともに、国民会議パンフレット、いつまでもシールを各 150 部配布、活動を PR した。

日　時　:2014 年 12 月 6 日（土）

場　所　:東京農業大学　横井講堂
東京都世田谷区桜丘 1-1-1

5 富士山基金事業と富士山基金への寄付

富士山基金は 2006 年 7 月 1 日に設立。幅広い募金活動を通じて、富士山の世界文化遺産登録の運動を地元静岡・山梨はもちろんのこと、広く全国にアピール、富士山の保存管理活動を国・地方自治体だけに頼るのではない、新しい官民一体の運動体とすることで、国民の環境や日本の文化に対する意識改革につなげることを目的とする。

2013 年度末富士山基金残高 ： 23,606,845 円
2014 年度富士山基金募金額 ： 12,990,638 円（12,976,301 円と利息 14,337 円）
2014 年度富士山基金取崩額 ： △7,139,817 円（7,134,243 円と手数料 5,574 円）
2014 年度末累計残高 ： 29,457,666 円

1．2014年度富士山基金を利用したPR/啓発活動

1)「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の推進

昨年の静岡県、山梨県、東京都中央区での実施に引き続き、本年は、東京都墨田区、台東区、渋谷区の全小学校にキッズ・スタディ・プログラムの教材を配布、授業実施を促した。また、昨年同様、対象地域の小学校教諭を中心に研修会を実施、授業実施促進を図った。

金額 3,441,474 円

2)「いつまでも富士山を世界遺産に」啓発シールの作成

夏季の登山シーズンを目途に、登山者、来訪者等への啓発のためのツールとして「いつまでも富士山を世界遺産に」シールを作成した。登山者、各地でのイベント時等で配布、世界遺産富士山の保全の啓発に努めた。

金額 1,570,260 円

3)「富嶽三十六プロジェクト」の推進

2,013 年の世界遺産登録を機にスタートしたプロジェクトも満一年を過ぎ、「富嶽三十六プロダクト」が36アイテム、コンプリートするなど、順調に成長している。今年度は新たに「富嶽三十六音楽祭」「富嶽三十六試合」「富嶽三十六カンパイ！」「富嶽三十六オルゴール」の 4 つのレーベルを追加し、プロジェクトの拡大を図った。

8 月 31 日（日）、富士宮市の富士山本宮浅間大社に、「富嶽三十六プロダクト」「富嶽三十六スイーツ」「富嶽三十六 T シャツ」等、一年間お世話になったアイテム（商品）を感謝の意を込めて奉納、世界遺産富士山の維持・継承、富士山登山の安全を祈願した。

金額 1,977,437 円

2. 2014年度主な富士山基金寄付

【2014 年度　主な寄付者リスト】

寄付者名	金額
朝霧 JAM（募金）	31,375
アサヒビール㈱	3,957,290
アサヒ飲料㈱	284,310
ウイルビー㈱	5,220
㈱NN	11,525
㈱小栗農園	2,436
加藤学園幼稚園	5,638
goodbymarket	40,000
㈱ケイミックス	40,700
㈱ケーアイ・フレッシュアクセス	925,386
㈱三七七六（裾野もののふの里銘酒会）	37,760
㈱ジェーシービー	160,267
静岡銀行インターネットバンキング	13,109
㈱静岡茶園	44,108
静岡県理容生活衛生同業組合沼津支部	5,000
Jun　Konishi	10,200
菅原工芸硝子㈱	267,495
田坂　英樹	6,000
玉田　君峰	9,000
㈱ドゥオモ	12,327
東京西海㈱	21,373
㈱中川政七商店	1,211,617
nanoka design	300
はごろもフーズ㈱	1,000,000
㈱パブリックデザイン	32,622
浜名湖競艇企業団	343,487
富嶽三十六カンパイ！	73,000
富嶽三十六試合（募金）	16,272
富嶽三十六チャレンジ	93,000
福井　秀昭	20,000

㈱藤二誠	1,215,000
㈱ブックウォーカー	874
㈱ベネフィット・ワン	154,170
㈱マークス	177,449
NPO　マリッジコンサル協会	6,973
㈱丸久物産	72,960
㈱ミロク	3,250
森博文	1,000
㈱大和工業	6,490
米久㈱	2,593,392
㈱ランナーズウェルネス	25,752
㈲リュミエール	13,000
㈱ルーク	45,880

（敬称略）　　（単位:円）

※寄付者数:　46

※匿名希望の方は表記しておりません